

この土曜授業を活用して、「ありがとうの会」を開催しました。この会は、1年間、学校教育にご協力頂いた地域の方々、学校支援ボランティアの方々をご招待して、感謝の気持ちを伝える場としています。また、同時に、6年生に対しても、学校を中心となって支えてくれたお礼を伝える場としています。それぞれの学年が、限られた時間で、どう「感謝」の気持ちを表すか、子ども達と担任はそれぞれのアイディアを重ね合わせて創出していきました。

「自分にはできないことがある。」そのことを自覚できた時、初めて人に頼り、助けてもらう関わりが 生まれてきます。そして、そこに「感謝」が生まれます。「できないことがあること」は、人と関わる チャンスが生まれることです。弱点は人と繋がる力に変えていくことができます。

これからも、向東に在住されている様々な分野のエキスパートの方々や、日々の登下校指導の見守り隊の方々、学校支援ボランティアの方々、関係諸団体の皆様方に子ども達は支えられて、学校生活を過ごしていきます。どうぞ、「地域の宝」に対して、温かいご支援を頂ければ幸いです。

当日,保護者の皆様方にも,この子ども達の姿を見て頂きたい思いはありましたが,会場の都合及び会の趣旨に基づき,入場をお断りさせて頂きましたこと,御了承ください。

